

みどり 水土里ネット富山だより

(富山の土地改良情報)

2018
第574号

7月1日発行



横江頭首工(富山県立山町)

CONTENTS

- 就任のご挨拶 1
- 第60回通常総会の開催 2
- 全国水土里ネット 表彰式 5
- 平成30年春の叙勲 5
- 農業農村整備事業に関する要請 6
- 「とやま森と木のフェスタ」太閤山ランドで開催
～第68回全国植樹祭メモリアルイベント～ 8
- 水土里探訪ウォーク in「氷見」の開催 8
- 北陸地区農地集団化促進協議会通常総会
及び研究会の開催 9
- 土地改良区の基盤強化を目指す各種研修会の開催 10
 - (1) 平成29年度富山県換地センター換地計画実務研修会 10
 - (2) 平成29年度富山県担い手育成ほ場整備研修会 10
 - (3) 小水力等発電施設に関する技術研修会 11
 - (4) 土地改良の次世代を担う 青壮年研修会 12
 - (5) 土地改良法改正に係る説明会 12
- 三合新発電所の運用開始式並びに竣工式 13
 - 農業用水って何だろう？— 標語及びポスター募集受賞作品 14
- 平成 29 年度 水の事故・ゴミ捨て防止
— 農業用水って何だろう？— 標語及びポスター募集受賞作品 14
- 第7回「とやまの農山村写真展」入賞作品 16
- (情報) 土地改良施設の診断・管理指導及び相談 18
- (情報) 非補助農業基盤整備資金のご案内 18
- (情報) 富山県農業用水小水力利用推進協議会 19
- (お知らせ) 今後の主な行事予定
(平成 30 年 7 月～ 12 月) 19
- (お知らせ) 本会の機構図 20



水土里ネット富山

(富山県土地改良事業団体連合会)



就任のご挨拶



水土里ネット富山（富山県土地改良事業団体連合会）
会長 堂 故 茂

会員市町村・土地改良区並びに関係機関の皆様には、日頃から本会の運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年3月28日に開催しました第60回通常総会において、任期満了に伴う役員の改選が行われ、理事に選任いただきました。引き続き行われた理事会において、私（堂故 茂）が会長に選任され就任いたしました。大変名誉なことであり、その重責に身が引き締まる思いで一杯であります。

私は、これまで「ふるさとに根っこがある」人づくり、国づくりを理念に掲げ活動してまいりました。今後は、農業農村の基盤づくりであります土地改良の推進に全力で取り組んでまいり所存でありますので、前会長河合常則氏と同様にご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願いいたします。

さて、我々水土里ネットは、先人達のたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の貴重な地域資源を良好な状態で次世代に継承していく責務があります。

この責務の遂行に不可欠な土地改良関係予算は「闘う土地改良」の旗印の下、組織をあげて様々な活動を行ってきた結果、平成30年度予算は、平成29年度補正予算と合わせて、大幅削減前を上廻る額を確保することができましたが、当初予算は大幅削減前の75%に留まっており、まだまだ現場のニーズに十分応えられる規模には達していませんので、安定的・計画的な事業執行のために、当初予算の確保に向けて、全力を尽くしてまいりたいと考えております。

また、今国会において、土地改良区の組合員資格交替の円滑化、財務会計制度の見直しなどの組織・運営に関する改正土地改良法が成立したところであります。この改正土地改良法の実施にあたっては、土地改良区の意見を十分に踏まえるとともに、土地改良区の規模に応じた事務体制に対する支援を国並びに、県が確実に行うこと、併せて地域資源を有効に活用した小水力発電等による維持管理費の軽減などの運営基盤を強化する取り組みを強力に進めてまいりたいと思っております。

なお、本年は富山県土地改良事業団体連合会が昭和33年に設立されて以来、60年の節目の年であります。農業農村が抱える課題も山積しておりますが、夢と希望をもって、国が示した農政の方向も踏まえ、関係機関とも連携を図りながら、役職員一丸となって取り組んでまいり所存でありますので、関係皆様のご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げまして就任のご挨拶とさせていただきます。

第60回通常総会の開催

平成30年3月28日富山市内「ホテルグランテラス富山」において、印藤久喜北陸農政局長をはじめ、富山県知事（代理 芝田聡富山県農林水産部長）、高野行雄富山県議会議長ほか、多数の来賓を迎え、本会の第60回通常総会並びに土地改良功労者の表彰式を開催しました。

表彰式では、長年に亘り土地改良事業の推進に功績のあった方々への表彰が行われました。富山県農林漁業功労者（農林漁業振興会長表彰）1名、土地改良功労者（県土連会長表彰）16名が受賞されました。

総会は、鹿熊副会長挨拶のあと、来賓の方々から祝辞を頂き、議案審議では、議長に廣瀬慎一氏（庄西用水土地改良区理事長）を選任し、

議事に入り、提案した議案はすべて原案どおり可決承認され、最後に決議を採択し閉会しました。



- 議案第1号 平成28年度事業報告・一般会計収支決算について
- 議案第2号 平成29年度一般会計収支補正予算の専決処分の承認について
- 議案第3号 平成30年度事業計画・一般会計収支予算について
- 議案第4号 平成30年度経費の賦課徴収の方法について
- 議案第5号 平成30年度役員報酬について
- 議案第6号 積立金及び余裕金の預入先について
- 議案第7号 役員を選任について

決 議

農業農村は、安全・安心な食料の安定供給はもとより、豊かな自然環境や生物多様性の保全、農地の洪水防止効果などによる防災機能など、多面的な機能の発揮を通じて県土を保全し、県民の暮らしを支える重要な役割を果たしてきました。

農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくためには、農地の集積集約、農地の大区画化、汎用化等の農地の整備や将来を見越した適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要となっている。加えて、全国各地でため池を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、大規模地震や気候変動による豪雨災害が多発しており、県民の生命と財産を守るためにも、ため池等の耐震化や洪水被害防止対策などの農村地域の防災・減災対策の推進、とりわけ中山間地域の条件不利を解消するための農業生産基盤整備は防災上の観点からも重要なことである。

我々は、農村地域の持つ魅力や多面的機能の発揮を通じて、農村地域の活性化を図り、「水」、「土」、「里」を守り、国民共有の貴重な財産として次世代に引き継いでいく重要な責務を担う者として「闘う土地改良」の旗印の下に一致団結して、次の事項の実現を図り、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

記

- 一、農業生産の基盤である農業水利施設を始めとする土地改良施設について、計画的な更新と適切な保全管理を推進するため、現場のニーズに十分応えられる規模の農業農村整備の当初予算を確保すること
- 一、担い手への農地集積、生産コストの低減、高収益作物の生産等、農業の構造改革を加速化するため、農地の大区画化、水田の汎用化等の対策を一層推進すること。その際、中山間地域においても、農業経営の持続的発展に向けて、地域特性を踏まえた基盤の整備が可能となるよう十分配慮すること
- 一、頻発する災害への対応力を強化し、農村地域の強靱化に資するよう、ため池を含む老朽化した農業水利施設等の更新・長寿命化や耐震化、洪水被害防止対策等の防災・減災対策を着実に推進すること
- 一、農業用水を利用した小水力など農村に豊富に賦存する資源の有効活用を促進し、土地改良施設の維持管理費の負担軽減や地域農業の活性化並びに再生可能エネルギーの地産地消を図るための対策を推進すること
- 一、多面的機能を有し、公共的な財産である土地改良施設を管理している土地改良区の役割を評価し、恒久的な行政支援による土地改良区運営基盤の強化対策を講ずること

平成30年3月28日

富山県土地改良事業団体連合会 第60回通常総会

富山県土地改良事業団体連合会役員名簿

平成30年4月1日現在

役 職	氏 名	他 の 役 職
会 長 理 事	堂 故 茂	参議院議員
副会長 理 事	鹿 熊 正 一	朝日町土地改良区理事長 富山県議会議員
専 務 理 事	永 森 雅 之	
理 事	中 川 忠 昭	常西用水土地改良区理事長 富山県議会議員
理 事	岩 田 忠 正	城端土地改良区理事長
理 事	夏 野 修	砺波市長
理 事	大 井 正 樹	高岡市土地改良区理事長 高岡市議会議員
理 事	上 田 英 俊	入善土地改良区理事長 富山県議会議員
理 事	奥 村 隆	常東用水土地改良区理事長
理 事	夏 野 元 志	射水平野土地改良区理事長 射水市長
代 表 監 事	廣 瀬 慎 一	庄西用水土地改良区理事長
監 事	桜 井 森 夫	小矢部市土地改良区理事長 小矢部市長
監 事	道 小 島 茂 生	魚津市土地改良区理事長

理事10名・監事3名

任期：平成30年4月1日～平成34年3月31日

富山県功労者表彰並びに土地改良功労者表彰

○富山県農林漁業功労者（農林漁業振興会長表彰）

射水平野土地改良区 常務理事 安田 克 則

○土地改良功労者（県土連会長表彰）

（役員の一部）

入善土地改良区	理 事	伊 林 勝 良
外輪野用水土地改良区	理 事	若 林 伯 治
久婦須川土地改良区	理 事 長	大 島 昭 男
大久保用水土地改良区	理 事 長	清 水 道 廣
呉羽射水山ろく用水土地改良区	副理事長	横 堀 大 輔
金山土地改良区	理 事	横 堀 素 美 雄
金山土地改良区	理 事	山 下 隆 之
福岡町土地改良区	理 事	尾 崎 輝 雄
高岡市土地改良区	理 事	竹 本 武 男
福野町土地改良区	副理事長	大 窪 利 正
井波町土地改良区	理事長職務代理	柴 田 壽 和
井波町土地改良区	理 事	齋 藤 幸 範

（職員の一部）

常東用水土地改良区	主 任	杉 本 加 代 子
砺波市土地改良区	主 任	村 田 有 紀
富山県土地改良事業団体連合会	係 長	筒 井 政 和
富山県土地改良事業団体連合会	主 任	佐 伯 雅 美



全国水土里ネット表彰式

平成30年3月26日、東京都千代田区平河町「シェーンバッハ・サポー」において、全国土地改良事業団体連合会（会長 二階俊博）主催の第59回全国土地改良功労者等表彰及び農業農村整備優良地区コンクール表彰並びに21世紀土地改良区創造運動表彰式が開催されました。農林水産省からは、齋藤健農林水産大臣をはじめ、荒川隆農村振興局長他幹部の方々、また、進藤金日子

参議院議員並びに宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問が出席され、全国より受賞者をはじめ多数の関係者が参集しました。

本県からは、次の団体及び個人が受賞されました。受賞されました皆様には心からお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍を祈念いたします。

－第59回全国土地改良功労者等表彰－

金章表彰	滑川南部土地改良区
銀章表彰	外輪野用水土地改良区
銀章表彰	鷹栖口用水土地改良区
個人表彰	大森裕一 富山県土地改良事業団体連合会指導監



平成30年 春 の 叙 勲

春の叙勲において、本会理事、城端土地改良区理事長の岩田忠正氏が旭日双光章を受章されました。

長年のご功績に対し深く敬意と感謝を申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



(主な経歴)

城端町長	平成9年～平成16年
富山県議会議員	平成16年～平成19年
城端町土地改良区 理事長	平成10年～平成23年
桜ヶ池土地改良区 理事長	平成18年～平成23年
城端土地改良区 理事長	平成23年～現在
富山県土地改良事業団体連合会 理事	平成27年～現在

農業農村整備事業に関する要請

富山県知事、富山県議会議員への要請

平成30年度予算編成に向けて、平成30年1月19日に鹿熊副会長と理事、監事が、石井隆一富山県知事ならびに県議会議員に農業農村整備推進の要請活動を行いました。

要 請 先 石井知事、県議会議員

- 要 請 事 項
1. 県民の暮らしを支え、収益性の高い農業経営のための基盤づくりを実現する農業農村整備事業予算の十分な確保と平成30年度事業の採択
 2. 農地と県民生活の安全を守る農地防災事業等の推進と平成30年度事業の採択
 3. 富山市水橋地域における国営緊急農地再編整備事業を活用した大規模ほ場整備事業の採択のための予算確保
 4. 県単事業の予算確保と農地整備事業の予算措置（ゼロ県債）の活用推進
 5. 農家負担の軽減対策の充実について、事業費負担や管理費負担の両面から、農家負担の軽減対策の充実
 6. 日本型直接支払制度の充実
 7. 中山間地域を守るための事業の充実



北陸四県土地改良事業団体連合会協議会の正副会長による要請活動

平成31年度当初予算の獲得に向けて、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会（幹事県 新潟県）では北陸四県の各土連会長、副会長、事務責任者が、平成30年6月12日、13日にかけて、自民党本部、各県選出国議員ならびに財務大臣、農林水産大臣ほか農林水産省の幹部職員に対して農業農村整備事業当初予算確保の要請を行いました。

12日は農林水産省において、齋藤健農林水産大臣と面談、13日には財務省において、麻生太郎財務大臣と面談、また自民党本部においては全土連会長である二階俊博幹事長と面談し、北陸四県の土地改良事業の実情をお伝えし、当初予算の十分な確保を要請しました。また、衆議院第二議員会館会議室において、宮腰光寛内閣総理大臣補佐官をはじめとする北陸四県選出の国会議員にご出席いただき、要請と意見交換を行いました。

このほか、農村振興局長はじめ農水省幹部職員に対しても要請を行いました。

要 請 先 自民党本部、県選出国議員、財務省、農林水産省

農業農村整備事業に関する要請書

日頃より北陸地域の農業農村整備事業の推進につきましては、格段のご支援ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

特に、平成29年度補正予算並びに平成30年度当初予算の確保につきましては、関係各位に一方ならぬご尽力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

さて、農業・農村は、安全・安心な食料の安定供給はもとより、豊かな自然環境や生物多様性の保全など、多面的な機能の発揮を通じて国土を保全し、国民の暮らしを支える重要な役割を果たしてまいりました。

本年から新たな米政策が始まるなど、農業農村を取り巻く状況は大きな変革期を迎えています。こうしたなか、農家所得の向上を図るためには、高収益作物の導入や省力栽培の導入など営農面での工夫に加え、これらの土台となる農地の大区画化や汎用化による生産コストの縮減や、担い手への集積集約化がまだまだ必要です。

一方では、地域の農業を支える土地改良施設は、多くが標準耐用年数を超過し、老朽化による施設機能の低下や、突発事故による営農への影響、加えて近年多発する災害への備えも必要な状況であり、計画的な補修・更新が重要な課題となっています。

こうした状況の変化に対しては、土地改良区の運営基盤強化が必要であり、我々県土連においても、農業農村の維持発展のために果たしていくべき役割は、ますます重要性を増すものと認識しております。

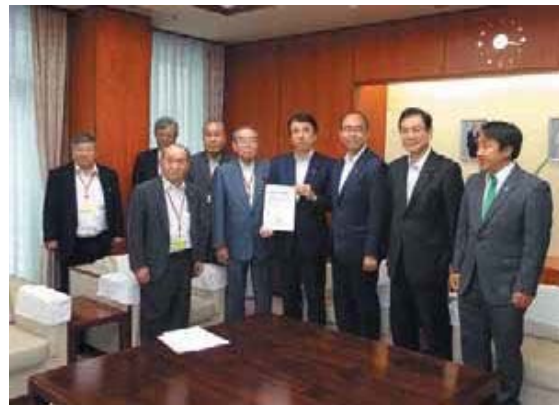
これらの諸課題に対応するためには、農業農村整備事業の着実な推進が不可欠であります。つきましては、農業農村整備事業の大きな役割をご理解いただき、平成31年度の予算編成に当たり、必要な予算措置を講じていただきますよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

平成30年6月13日

北陸四県土地改良事業団体連合会協議会



麻生太郎財務大臣に要請



齋藤健農林水産大臣に要請

「とやま森と木のフェスタ」太閤山ランドで開催 ～第68回全国植樹祭メモリアルイベント～

平成30年5月20日、県民公園太閤山ランドにて富山県と公益社団法人とやま緑化推進機構の主催による「とやま森と木のフェスタ」が開催されました。昨年魚津市で開催された全国植樹祭のメモリアルイベントとして、記念式典や記念植樹ほか多彩なイベントが行われ、約3,000人が参加しました。

式典では、石井隆一知事の式辞、高木繁雄機構理事長の挨拶や来賓からの祝辞の後に、林業振興・緑化活動等に功労のあった個人及び団体に対し表彰が行われました。式典後、参加者による植樹活動や苗木の配付が行われ、会場では木工教室や県産材PRブースが設けられ、富山

米新品種「富富富（ふふふ）」おにぎりの試食もありました。

本会は展示ブース会場に出展参加し、農業・農村・森林が持つ多面的機能や、農業用水の役割や小水力発電について、また地元土地改良区の実証試験機を携え、実際に水車が回転することで発電が起きる様子の体験や、農業用水が河川の下を伏せ越す状況を実況したサイフォン模型を展示して、農業用水の機能や流れ方などについて、子ども達を含む大勢の参加者に紹介しました。



水土里探訪ウォーク in 「氷見」 の開催

- ・主 催 : 水土里探訪ウォーク実行委員会
(富山県、富山県土地改良事業団体連合会、高岡土地改良協議会ほか3協議会)
- ・と き : 平成30年6月9日(土)
- ・と ころ : 氷見市鞍川(ふれあいの森第2駐車場)
- ・参加人数 : 170名
- ・コ ー ス : ふれあいの森第2駐車場 → 上日寺の行田池 → 湊川沿い
→ 十二町瀉排水機場 → 十二町瀉水郷公園 → 万尾川沿い
→ ゴール(ふれあいの森第2駐車場)の約6.5km

今回で27回目となる水土里探訪ウォークが、氷見市鞍川地内を主会場にて開催されました。開会式では、実行委員会長の南理富山県農林水産部農村整備課長が開会を宣言し、主催者を代表して運営委員長の木下俊男氷見市土地改良区理事長が挨拶され、また、地元氷見市の林正之市長が歓迎のことばを述べられました。この後全員でラジオ体操を行い、参加者らは元気よくスタートしました。曇り空でしたがコースの途中では、「ふるさと水環境整備事業」で整備され

た上日寺の行田池を見学し、湊川沿いを散策しました。十二町瀉排水機場では、排水機場の役割や管理状況の説明を受け、施設見学を行いました。十二町瀉水郷公園では、園内の水生植物の池やオニバスの池を見学し、園内の横断橋を渡りウォーキングを楽しみました。ゴール地点では、抽選による地元特産品等のプレゼントもあり、参加者の皆さんにはウォークを堪能して帰路に着いていただきました。



北陸地区農地集団化促進協議会 通常総会及び研究会の開催

平成30年6月21日、石川県羽咋市にて北陸地区農地集団化促進協議会（当番県：石川県土地改良事業団体連合会）の平成29年度通常総会が開催されました。来賓に北陸農政局農村振興部の柴田土地改良管理課長、石川県農林水産部の山本担当課長を招き、北陸四県の事務担当者が出席しました。

総会は、石川県土連の前寺専務理事（会長代理）の開会挨拶の後、北陸地区農地集団化促進協議会永年勤続者表彰式が行われ、下記の4名が受賞され、本県から黒部川左岸土地改良区の長谷川さんが受賞されました。引き続き、柴田課長、山本課長の来賓挨拶がありました。

北陸地区農地集団化促進協議会 永年勤続者表彰			
○ 新潟県	荒川沿岸土地改良区	登坂 博之	
○ 富山県	黒部川左岸土地改良区	長谷川直美	
○ 福井県	福井県土地改良事業団体連合会	大屋 由香	
○ 石川県	輪島市土地改良区	宮坂 広	

続いて議事に入り、前寺石川県土連専務理事を議長とし平成29年度の事業報告、同収支決算、平成30年度事業計画（案）、同収支予算（案）、会費負担基準（案）、平成30年度役員の選任について審議され、原案どおり承認されました。

また、総会終了後に北陸地区農地集団化促進協議会研究会が開催され、北陸農政局土地改良管理課の菅原土地改良指導官より「農用地集団

化を巡る最近の動向について」ということで北陸四県の事務担当者と意見交換を行いました。その後、農地集団化事業に関する事例発表として福井県と富山県より発表がありました。

翌22日は、石川県七尾市の「農事組合法人なたうち」、同県羽咋市の「県営ほ場整備事業（耕作放棄地解消型）滝地区」について現地視察を行い全日程が終了しました。



永年勤続者表彰



石川県七尾市にて現地研修

土地改良区の基盤強化を目指す各種研修会の開催

(1) 平成29年度富山県換地センター換地計画実務研修会

平成30年2月1日、富山県総合情報センターにて「平成29年度富山県換地センター換地計画実務研修会」が開催され、土地改良区、県、県土連の担当者、計76名が出席しました。富山県換地センターでは、換地技術者育成を目的とした研修

会を年2回実施しており、今回は後期の研修会となります。

研修会は、まず浦田一郎換地士部会長、永森雅之富山県土地改良事業団体連合会専務理事の開会挨拶の後、下記の内容にて研修が行われました。

講義内容	講師
不在者・相続財産管理制度について	富山県弁護士会 富山西町法律事務所 井加田 宏 氏
都市農山漁村交流の推進について	富山県農林水産部農村振興課 都市農村交流係 主査 渋谷 章弘 氏
職場のハラスメントの理解と防止に向けて ～パワハラ問題～	大阪企業人権協議会 企業人権協サポートセンター長 芝本 正明 氏



不在者・相続財産管理制度
について



都市農山漁村交流の
推進について



職場のハラスメントの理解と
防止に向けて
～パワハラ問題～

(2) 平成29年度 富山県担い手育成ほ場整備研修会

富山県構造改革推進ほ場整備研究会(会長 長原一夫 大門町土地改良区理事長)では、平成30年2月21日、富山県民共生センター サンフォルテにおいて「平成29年度富山県担い手育成ほ場整備研修会」を富山県農村整備課との共催で

開催し、県内の土地改良区・担い手農家・営農組織・県関係者ら237名が参加されました。最初に長原会長の開会挨拶と、富山県富山農林振興センター大橋所長から挨拶があり、その後研修に入りました。



研修内容は次のとおりです。

- ・土地改良法の29改正と今後の改正方針
北陸農政局 農村振興部 土地改良管理課 土地改良指導官 菅原 安美智 氏
- ・やる気！元気！新たな立山農業の創造に向けた挑戦
富山県 富山農林振興センター 農業普及課 立山班長 宝田 研 氏
- ・水稻新品種「富富富」の挑戦
富山県 農林水産総合技術センター 農業研究所 育種課長 小島 洋一朗 氏

菅原土地改良指導官は、平成29年度に一部改正された土地改良法について、中間管理機構関連事業を中心にその目的から事業内容・要件、換地計画の留意点など、また、今国会で審議予定の土地改良制度の見直しの意義と対応方針について講演されました。

宝田班長は、普及関係者のコーディネートの下、営農組織が行政やJAなどとの連携により、稲作の品質向上のみならず、稲作期間以外の果樹・

野菜栽培による労働の確保と収益を上げるための積極的な取組みを紹介されました。

小島課長は、コシヒカリに代わる富山県産米新品種開発の目的や開発経緯について、また、気候や病虫害に対する耐性、お米としての美味しさなど品質の確保など、平成30年秋から本格的な流通を行う予定の「富富富(ふふふ)」について紹介されました。

(3) 小水力等発電施設に関する技術研修会

平成30年2月26日、富山県土地改良会館研修会室において「小水力等発電施設に関する技術研修会」が富山県農業用水小水力利用推進協議

会主催で開催され、土地改良区等、富山県、市町の小水力発電担当職員ら35名が参加されました。研修会は、下記の内容にて行なわれました。

- ・小水力発電の整備状況と今後の進め方について
富山県農村整備課 主任 折川 文清 氏
- ・小水力発電施設に関する質疑について（事前質疑等の回答）
富山県農村整備課、富山県土連の担当職員
- ・小水力発電施設の保安全管理の取り組み状況
富山県土連 専門官 水上 宗久 氏



(4) 土地改良の次世代を担う青壮年研修会

平成30年3月23日、富山県民会館において「土地改良の次世代を担う青壮年研修会」が開催され、県内土地改良区及び県土連の青壮年職員など53名が参加しました。挨拶の後、「土地改良制度のあり方」議論の方向性について、土地改良の役割、効果の理解浸透に向けて青壮年職員のゆるやかな連携を図る研修・交流の枠組みについて研修を行い、4グループに分かれてグループディスカッションを行いました。次に、富山県農林水産部 志村参事より「とやまの水土里ネッ

トに期待すること」と題した講演が行われました。この研修会を機会に、青壮年職員が連携して富山の土地改良を盛り上げていくことを旗印に、参加者の皆様のご理解をいただき「とやまの土地改良 青壮年の会」を立ち上げ、ゆるやかな連携を図ることと致しました。富山県内の土地改良関係に従事する青壮年職員を対象に、研修会や情報交換等を通じて技術研鑽や資質向上、交流の促進を図り、より良い土地改良区運営に貢献していきたいと考えています。



(5) 土地改良法改正に係る説明会

平成30年5月16日、富山県土地改良会館研修会室にて、土地改良区役職員等90名が参加し、「土地改良法改正に係る説明会」を開催しました。

今国会において成立した土地改良法の改正は総代会制度の見直しや准組合員の設定など、土地改良区の在り方に視点を置いたものであり、平成31年4月に施行されることとなりました。

今回の説明会では国会審議等でご多忙の中、改正法案作成に直接携わられた農林水産省農村

振興局整備部土地改良企画課 市村和寿課長補佐(総括)を講師にお招きし、法改正の内容について、改正の理由や、土地改良区の対応の留意点、国からの資料提示の予定等、詳しい説明がありました。

質疑では、「准組合員からの賦課金の徴収」、「利水調整規程の内容」、「土地改良区連合の新たな業務」についての質問があり、法改正への関心の高さが感じられました。



三合新発電所の運用開始式並びに竣工式

平成27年度に地域用水環境整備事業で着手した三合新地区の運用開始式、竣工式が平成30年5月28日、砺波市芹谷地内の同発電所で行われ、関係者・地域住民ら約70人が祝いました。

同発電所は、庄東用水土地改良区が事業主体となり、管理する農業用排水路を活用して整備を行ったものであり、有効落差約30m、最大使用水量0.33m³/sにより最大出力78kWを発電するもので、総事業費は約2億7千万円、年間可能発電電力量は約59万kWh（一般家庭140世帯、

年間約320tのCO2排出削減）を見込んでいます。

神事に続き、運用開始式が行われました。まず三屋勉副理事長の概要説明のあと、関係者による発電起動式を行い、水車発電機を稼働させました。式典では、川合昭夫庄東用水土地改良区理事長の式辞後、工事施工業者へ感謝状及び記念品が贈呈されました。来賓の金村俊文砺波農林振興センター所長と夏野修砺波市長、米原蕃県議会議員並びに永森雅之県土地改良事業団体連合会専務理事が祝辞を述べられました。



平成29年度「水の事故・ゴミ捨て防止」－農業用水って何だろう？－ 標語及びポスター募集 受賞作品

農業用排水路やため池における水難事故やゴミ投棄の防止を呼びかけるため、標語及びポスターを募集し、受賞作品を小中学校などに配

布しています。

今回は、標語850点、ポスター450点の応募があり、優秀作品22点が選定されました。

ポスターの部

富山県知事賞(最優秀賞)



富山市立奥田中学校
2年 牧野 叶葉

主催：富山県
共催：富山県市長会 富山県町村会
富山県土地改良事業団体連合会

「水の事故・ゴミ捨て防止」標語・ポスター募集の沿革

- 昭和52年度 標語ステッカーの配布
- 昭和55年度 県職員からの標語募集を開始
- 昭和59年度 市町村(農地関係課)を募集対象に追加
富山県市長会、富山県町村会、富山県土地改良事業団体連合会が共催となる
- 平成元年度 小中学校を募集対象に追加
- 平成2年度 一般を募集対象に追加
- 平成3年度 ポスター募集を開始
- 平成14年度 水の事故に加え、ゴミ捨て防止についても呼びかけ
- 平成21年度 標語ステッカー及びポスターに代わり、カレンダー配布

富山県知事賞



砺波市立出町小学校
2年 庄田 茉耶



入善町立桃李小学校
3年 小川 あかり



高岡市立東五位小学校
6年 長柄 咲良



富山市立奥田中学校
2年 田中 拓空



富山市立三成中学校
3年 金瀬 優

富山県土地改良事業団体連合会長賞



砺波市立庄東小学校
3年 石附 鉄正



入善町立桃李小学校
4年 亀田 碧海



黒部市立村椿小学校
4年 新村 文望



富山市立三成中学校
1年 山田 悠斗



砺波市立出町中学校
3年 大久保 祐希

標語の部

賞	氏名	学年	学 校	標 語
富 山 県 賞	廣明 侑也	1年	黒部市立たかせ小学校	まもろう じこなしごみなし きれいなみず
	中村 考我	3年	富山市立新庄小学校	すてないで ゴミと思い出 持ち帰ろう
	五十里優仁	5年	朝日町立さみさと小学校	ふるさとの山 きれいな川と海 未来へ残そう ぼくらの力で
	久郷 亮太	5年	富山市立新保小学校	清らかな 水でみんなの笑顔 富富富
	若島 美穂	6年	入善町立黒東小学校	ポイ捨ては しない させない 許さない
富 山 県 土 地 改 良 事 業 団 体 連 合 会 長 賞	河原 悠夏	1年	富山市立堀川小学校	きけんいっぱい 川のそば こえかけあってふせぐじこ
	竹腰 香凜	2年	立山町立高野小学校	これくらいの ゴミすてだいじょうぶは 赤しんごう
	稲垣香里奈	3年	立山町立利田小学校	用水は みんなでまもる たからもの
	舟本 大悟	4年	入善町立ひばり野小学校	農業用水 わたしたちのしあわせ はこんでる
	竹田 脩真	5年	砺波市立砺波北部小学校	未来へと 美しい用水 伝えよう
	堀田 玲奈	2年	上市町立上市中学校	ごみひろい 小さな親切 広がる未来

第7回「とやまの農山村写真展」入賞作品

平成30年2月15日、富山県民会館にて「とやまの農山村写真展」表彰式が行われました。富山県では、美しく豊かな農山村を後世に守り伝えていくために、広く県民の皆様へ農山村地域の素晴らしさや大切さを知っていただき、保全活動などへの参加を促すことが必要であることから、啓発活動の一環として、「とやまの農山村写真展」を開催しています。第7回となる今回は、全応募

数189点(一般部門137、ジュニア部門52)の中から21点(一般部門13、ジュニア部門8)が入賞されました。

入賞作品と受賞された方は次のとおりです。

主催：富山県
共催：富山県土地改良事業団体連合会
とやま棚田ネットワーク

富山県知事賞

【一般部門】



最優秀賞 「体験学習」



優秀賞 「除草アイカモ」



優秀賞 「収穫の喜び」

【ジュニア部門】



最優秀賞 「田植えフィニッシュ」



優秀賞 「夕日に染まる円筒分水槽」

富山県土地改良事業団体連合会長賞(棚田賞)

【一般部門】



「ホウキ草」



「黄金色映える棚田」



「みどりがいっぱい」

【ジュニア部門】

入賞者一覧

(敬称略)

賞			受賞者	市町村	タイトル
富山県知事賞	一般部門	最優秀賞	河合 覚	南砺市	体験学習
		優秀賞	山田 芳子	富山市	除草アイカモ
		優秀賞	杉山 邦雄	高岡市	収穫の喜び
	ジュニア部門	最優秀賞	水野間郁登	氷見市	田植えフィニッシュ
		優秀賞	上田 花怜	富山市	夕日に染まる円筒分水槽
富山県土地改良事業団体連合会長賞	一般部門	棚田賞	中西 光男	魚津市	ホウキ草
	ジュニア部門	棚田賞	梶原 隆	富山市	黄金色映える棚田
とやま棚田ネットワーク会長賞	一般部門	特別賞	沢田みどり	黒部市	抜穂祭
			富田 栄人	富山市	五穀豊穰を願い
			横田 誠	魚津市	キャ!
			細川 潤	上市町	原風景
			山崎 勝	富山市	春の日の出
			片岸 明美	南砺市	夕ぐれの散居村
			湊 繁之	富山市	円筒分水槽(東山右岸)
			林 謙宗	高岡市	田植
	ジュニア部門	特別賞	稲田 友希	魚津市	あせつ柿
			向柴 天斗	氷見市	おばあちゃんの干柿
			石田 理紗	富山市	漢の仕事
			布村 優真	富山市	おすそわけ
		北野由芽華	滑川市	おぼれる者は苗をもつかむ	

入賞作品は県内各地にて巡回展示をしています。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

「とやま棚田ネットワーク」ホームページ

<http://www.nn-toyama.jp/tanada/tanada.htm>

◆土地改良施設の診断・管理指導及び相談◆

本会では管理専門指導員による土地改良施設の点検、整備、操作等土地改良施設の管理に関する専門的な診断管理指導を行っています。

① 土地改良施設の診断業務

本年度は、定期的な施設診断として頭首工・揚水機・ため池等、48箇所を予定しております。また、施設管理者からの要請診断も受け付けています。施設診断の際は、現地立ち会い等、ご協力お願いいたします。

【維持管理適正化事業新規加入について】

上記①の要請診断を行った施設の平成31年度加入要望地区ヒヤリングは、9月に各農林振興センターにおいて実施する予定です。

問い合わせ先 管理指導センター室 TEL:076-424-3380 FAX:076-424-3332
e-mail:kanri@tomidoren.jp

② 土地改良事業相談業務

本会では相談指導員を配置し、下記事項に関する助言及び指導を随時行っていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

- ・土地改良事業計画の作成
- ・事業主体の組織運営上の指導
- ・農業水利に関する指導
- ・換地処分その他農用地集団化に関する指導
- ・工事の実施に関する指導
- ・土地改良施設の管理に関する指導
- ・土地改良法令に関する指導
- ・その他

◆非補助農業基盤整備資金のご案内◆

1. 非補助農業基盤整備資金とは

土地改良区等が国からの補助を受けないで、かんがい排水やほ場整備、客土などの事業に取り組み、農業生産基盤整備・保全の推進を図る場合、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し低利で融資する資金です。国の補助対象でない県又は市町村単独による補助事業についても、融資の対象となります。

2. 対象となる事業種類・内容

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、索道(軌道等運搬施設を含む)、畦畔整備、農地造成、防災・農地保全、農業集落排水(農村下水道)、発電施設。

維持管理計画書作成に係る調査費、土地改良区事務所の新增築、事務機器や複式簿記導入に係るシステム、車両など

3. 融資条件

●貸付対象者

土地改良区、土地改良区連合(事業主体となる場合に限る)、農業協同組合、農業協同組合連合会、農業を営む方、農業振興法人

●償還期間

25年以内(うち据置期間10年以内)

【農業農村整備資金利率】

区 分		H30. 5. 23現在
補 助 事 業	県 営	0.45 %
	団 体 営	0.30 %
非 補 助 事 業	一 般	0.30 %

〈お問い合わせ先〉

- ・ 富山県農林水産部農村整備課換地業務係 076-444-3375
- ・ 北陸農政局農村振興部土地改良管理課 076-263-2161 (代表)
- ・ 富山県土地改良事業団体連合会事業部管理指導課 076-424-3380

〈融資担当機関〉

- ・ 日本政策金融公庫富山支店 076-441-8411
- ・ 農林中央金庫富山支店 076-445-2508 (公庫受託課)

◆富山県農業用水小水力利用推進協議会◆

当協議会も設立後、6年目を迎えることになりました。さらなる富山県における小水力発電等の推進に向けた取り組みを実施したいと思っておりますので、会員各位のご理解・ご協力の程よろしく申し上げます。
なお、今年度総会を下記のとおり開催し、議案は原案どおり可決・承認されました。

◆平成30年度総会

- 日 時：平成30年6月7日(木) PM2:00～
- 場 所：富山県土地改良会館3F研修会室
- 内 容：平成29年度事業報告・同収支決算
平成30年度事業計画・同収支予算(案)
- その他：総会終了後、富山県農林水産部農村整備課からの講演

お 知 ら せ

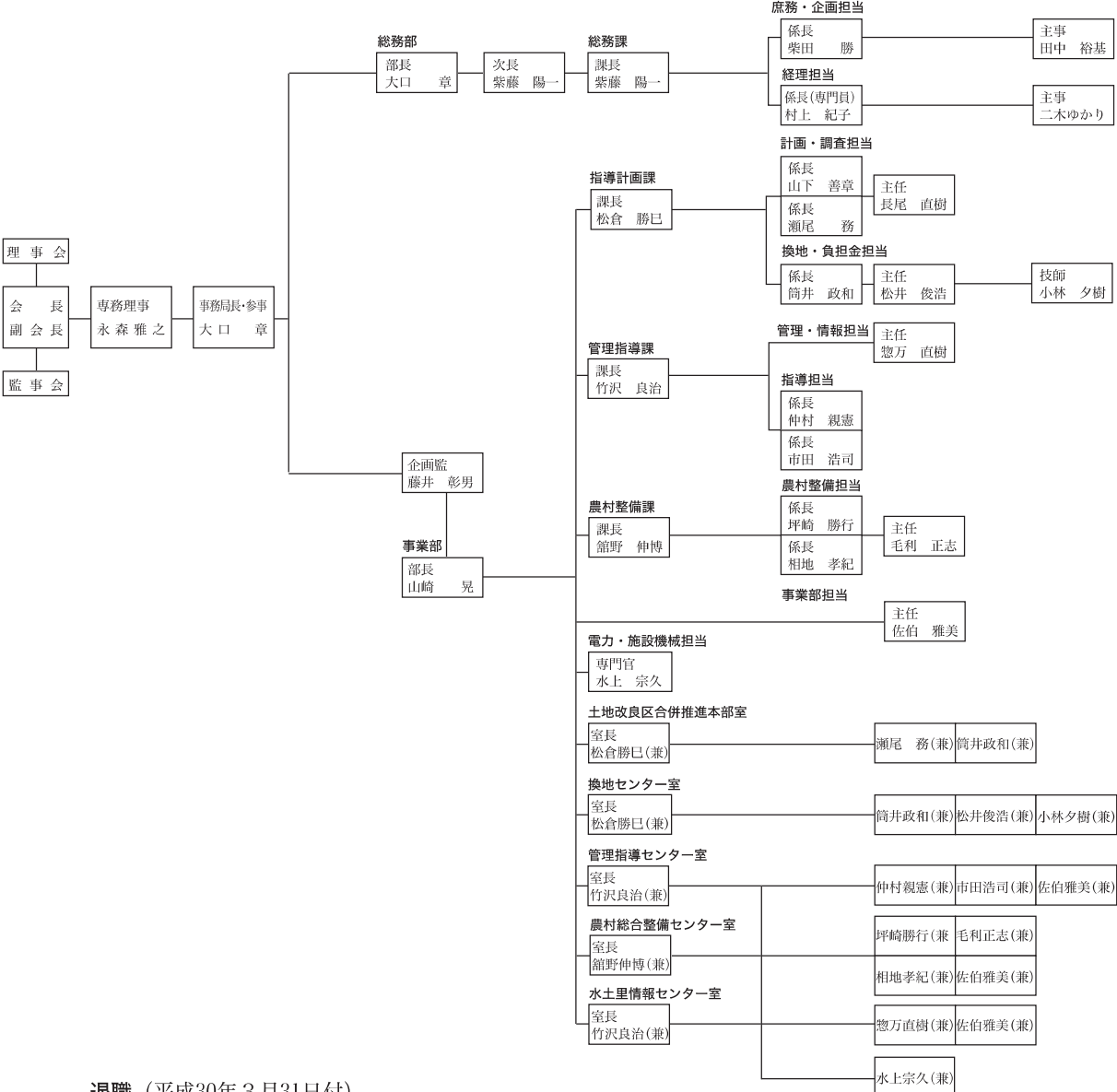
●今後の主な行事予定(平成30年7月～12月)●

月日	会 議 と 行 事	場 所	参加対象	備考
7月17日	「元気とやま」むらづくり推進大会2018	富山県民会館	関係者	後援
7月22日	本会設立60周年記念式典	ホテルグランテラス富山	会員・来賓等	主催
7月31日	全国農業集落排水事業推進協議会 第29回通常総会	東京都内	会員等	事務局
10月10日	平成30年とやま水土里フォーラム	南砺市井波総合文化センター	関係者	主催

(注) 本案はあくまでも予定であり、別途詳細案内等を確認のうえ参加ください。

お 知 ら せ

●富山県土地改良事業団体連合会機構図 (平成30年4月1日現在) ●



退職 (平成30年3月31日付)
指導監 大森 裕一

主な人事異動 (平成30年4月1日付)
新任
企画監 藤井 彰男

新規採用
事業部指導計画課 技師 小林 夕樹



みどり
水土里ネット富山
農村環境を保全する



水土里探訪ウォーク in「氷見」



農業農村整備事業等の調査・測量設計等業務に関する
ご相談は、下記までお問い合わせください。

富山県土地改良事業団体連合会

〒939-8214 富山市黒崎17番地
TEL076-424-3300 FAX076-424-3332
<http://www.tym-midori.net/tomidoren>

